

巻頭言

変化をポジティブなものに

(一社)九州経済連合会 副会長 永田 理〔トヨタ自動車九州(株) 社長〕 … 1

トピックス

新たに「九州ジェンダーギャップ指数」を策定

～ 2021年九州の総合スコアは0.641で9位、沖縄は0.659で1位～

地域単位でのジェンダーギャップ算出は画期的 …………… 2

九経連活動報告

環黄海経済圏の共同発展を目指してハイブリッド開催

第19回環黄海経済・技術交流会議 … 3

「九州将来ビジョン2030」実現に向けた取り組みについて意見交換

顧問会 … 4

世界を変えるStartup・イノベーションを福岡・九州から

～ StartupGo!Go!2021 ～ … 5

企業経営でのDXの取り組みについて、九州と沖縄それぞれの知見共有と意見交換

第14回沖縄連携フォーラム … 6

日誌(12月)

…………… 8

関連団体等

知財コラム Vol.8

「知的財産を事業に活かす」～「知的財産」と「産業財産権」の比較、活用～

知的財産権研究会 … 10

寄稿

情報資産を守るため、機器のライフサイクルを意識しEOLを管理しよう！

一般社団法人鹿児島県サイバーセキュリティ協議会 代表理事 西川 彰 … 12

会員紹介

一般社団法人EMoBIA …………… 13

株式会社愛歯 …………… 14

沖縄観光通信

～ミス沖縄がおススメする沖縄観光情報～ 熱帯ドリームセンター …………… 15

九州観光推進機構ニュース

旅行者に人気のモデルコース

～⑧ 福岡発！佐賀から長崎へ九州西部の旅～ …………… 16

九州・山口地域動向

…………… 18

表紙説明・スケジュール(2月)・新入会員企業(12月)

…………… 21

変化をポジティブなものに



(一社)九州経済連合会 副会長

永田 理

〔トヨタ自動車九州(株) 社長〕

ここ2年間、コロナ禍で健康・生活・家計・事業・経営などいろいろな面で、多くの方がご苦労されています。行政や金融機関からの支援に感謝するとともに、地域の方々や企業間の助け合いの大切さを感じております。

私たちの生活様式や働き方は変化せざるを得ませんでした。ただ、全てがネガティブな変化ではなく、ポジティブなものもあったと思います。当社が経験した変化の中でポジティブなものをいくつか紹介したいと思います。

一つ目は、社会貢献への取り組みが強くなったことです。地元の医師のアドバイスを得て、飛沫感染防止用の医療補助器材やレスキュー補助器材を作成し、自治体へ提供しました。地域の方のためにワクチン接種会場を社内に設営し、送迎サービスも行いました。また、子ども食堂への食材提供や本・文房具・おもちゃのプレゼントなどをさせていただきました。

二つ目は、小学生の社会学習の一環で行っていた工場見学のリモート化です。多くの生徒さんがバスに乗って工場に来ることは止め、

当社と小学校をリモート会議システムでつなぎました。自分たちで生産ラインの動画やクイズを含めた学習テキストを作成し、リアルタイムで質問に答えるなど新しい工場見学のやり方を構築してくれました。全国の小学校や海外の日本人学校からも参加していただいています。ジャパネットたかたさん程ではありませんが自前のスタジオができて、少し嬉しいです。

三つ目は、九州のスタートアップ企業・ベンチャー企業の協力を得た、ソフトウェアやアプリの開発とその利用です。業務面では、生産する車の走行時のノイズを計測する試験を自動化し、従業員の身体への負担を軽減することができました。また会社生活の面では、地域の飲食店へお弁当を注文できるアプリを作り、オーダーから支払いまでスムーズに行うことができるようになりました。

私たちの周りには、清潔になったこと、楽になったこと、安心感が生まれたことなど、ポジティブな変化がたくさんあると思います。感染防止の観点から今まで通りのことができなくなった時に、新しいやり方を生み出す人たちに拍手を贈りたいと思います。その取り組みの中で九州域内の連携が強化され、活性化されることを期待しています。皆で力を合わせ乗り越えていきましょう。

環黄海经济圈の共同発展を目指してハイブリッド開催

と き 11月16日(火)

ところ 熊本市・熊本城ホール(Web併催)

出席者 約400名

第19回環黄海経済・技術交流会議

九州経済国際化推進機構、経済産業省九州経済産業局、
(一社)九州経済連合会、熊本市、韓国産業通商資源部、
(社)韓日経済協会、中国商務部

環黄海会議は、東アジア・環黄海地域の経済の発展と交流の深化を目指す経済交流プラットフォームとして、九州、中国、韓国の三国政府(九州経済産業局、中国商務部、韓国産業通商資源部)と経済団体のパートナーシップの下、2001年3月より各国持ち回りで毎年開催してきた。第19回会合は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、昨年より延期されていたが、1年ぶりに九州(熊本市)にて開催。感染症拡大防止のため、ハイブリッド形式にて行った。

第19回会合では「感染症対応型ビジネス分野」「環境・エネルギー分野」「地域間交流分野」の3つのテーマについて、三国より技術や取り組みの紹介が行われた。



まず、**感染症対応型ビジネス分野**では、九州側より「非接触型移動棚の開発」や「紫外線照射装置の可能性」について、韓国側より「パンデミック以降の企業のDX戦略の変化」や「健康管理プラットフォーム」について、中国側より「江蘇省と日韓の産業チェーン・サプライチェーン協力の推進」について、それぞれ紹介があった。

次に、**環境・エネルギー分野**では、環境保全やエネルギー構造転換への関心が高まる中、九州側より「プラスチック素材の再生事業におけるAIロボット・IT技術の活用」「燃焼灰の新しい利活用技術」について、韓国側より「電気自動車の使用済みバッテリー診断技術の開発動向」について、中国側より「エネルギーミックスの変革」について、それぞれの取り組みが紹介された。

特に、エネルギー問題はSDGsに掲げられる

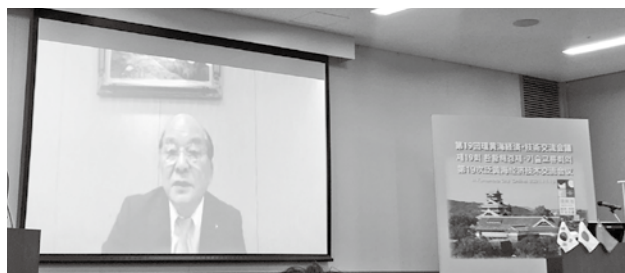
ゴールの一つで、世界的に注目される分野であり、世界が抱えるエネルギー問題の解決は、未来の環境を守ることにもつながる、大変関心の高いテーマである。

また廃棄物の再生事業におけるAIの活用等、近年注目が高まっている分野について紹介しただけことは大変有意義であった。

最後に、**地域間交流分野**では、九州側より「熊本市の魅力(産業や豊かな観光資源等)」について、韓国側より「メガイベント誘致」について、中国側より「日韓との協力関係を築くプラットフォーム」について、また「北東アジアとの協力による新たな発展の追求」をテーマに、それぞれ発表を行った。

メガイベントの誘致には地方の活性化に向けたヒントが、また、日中韓とのプラットフォーム構築には環黄海地域の連携に関するヒントが詰まっており、各国それぞれの地域での取り組みは大変興味深いものであった。

次回会合(韓国開催)では、現在の人の往来が難しい状況が落ち着き、リアル開催ができることを期待したい。



全体総括と閉会挨拶を行う本会倉富会長

【国際部 青松】

「九州将来ビジョン2030」実現に向けた取り組みについて意見交換

と き 12月1日(水)

ところ 東京・ホテルオークラ東京

出席者 18名

顧問会

会員企業の東京本社のトップで構成する「顧問会」(会長の諮問機関)を開催し、本会活動を報告するとともに、意見交換を行った。

会議ではまず倉富純男会長が挨拶し、「この6月に会長に就任した。2021年は創立60周年の節目にあたり『九州将来ビジョン2030』を策定した。このビジョンで示された『幸せコミュニティ』の実現に向けて、足元の課題を一つ一つクリアしながら着実に深化させ、九州から風を起こして日本を明るくしていきたい。まずはコロナで大打撃を受けた九州の基幹産業である観光や農林水産業の復興支援に取り組み、さらにイノベーションによってありたい姿に向けてチャレンジを続け、未来への投資を積極的に行っていきたい」と述べた。

続いて、長尾成美専務理事から、ビジョン実現に向けた最近の主な取り組みなどについて説明した後、自由懇談に入った。

懇談では、カーボンニュートラルへの対応や観光再生への取り組みなど「九州将来ビジョン2030」の実現に向けた課題を中心に多くの意見(別掲)を頂戴した。これらについては今後の本会活動へ反映させていく。



【主な意見】

①カーボンニュートラルへの対応

- 九州近海はCCS(二酸化炭素回収・貯留)の適地が多いとの調査結果があるが、単独企業だけでは実施が困難。国や自治体などと連携してイノベーションを進めてほしい。
- 脱炭素化の過程でこれまでCO₂を排出し続けていた各企業のアセットが不良債権化する可能性があり、日本としての備えをしっかりとしておく必要がある。

②観光再生への取り組み

- 直近の海外への調査によると、コロナ後の希望旅行先として日本が世界2位、アジアで1位に選ばれた。コロナ禍で日本の安心・安全が注目され、さらに魅力が高まっている。観光誘致は国家間の競争であると同時に地域間競争でもある。今のうちから九州一体でのインバウンドへの仕掛けが必要。

③DXの推進

- 九州で子どもを育てたいという観点で言えば「九州DX推進コンソーシアム」の中の「人材育成プログラムWG」の対象を企業人や大学生から小学生あたりにまで広げ、九州に住む子どもの意見も取り入れて、コンソーシアムに生かしていくと良いのではないか。

④「幸せコミュニティ」の実現

- コロナ禍の影響もあり、首都圏で勤務する九州出身の若者の多くが、30歳を超えたあたりでもう一度九州に戻って働きたいと思っている。こうした人々が九州に戻り、九州をより活性化させていくことが、このビジョンの実現につながっていくのではないか。
- 地域の人口が増えていくことが最も大事。子どもが生まれる地域ナンバーワンや、転勤者が永住したくなる地域ナンバーワンなどになるためにどのような施策があるか、DXも活用して考え、支援していくことが重要。

【総務広報部 岡】

世界を変えるStartup・イノベーションを福岡・九州から ～ StartupGo!Go!2021 ～

と き 11月30日(火)

ところ 福岡市・Fukuoka Growth Next (Web同時配信)

参加者 約600名(Web500名を含む)

本会は、(一社) StartupGoGo (代表：岸原稔泰氏)と連携し、九州をはじめ日本を代表するスタートアップが一堂に会する九州最大級のピッチイベント「StartupGo!Go!2021」を開催。(株)FFGベンチャービジネスパートナーズ主催のオンラインマッチングイベント「X-Tech Match up」も同時開催された。

当イベントは、イノベーション進展の推進役であるスタートアップの発展を目的としている。多くの起業家が集まる九州からオープンイノベーションを発信するため、これまで企業とのマッチング等、起業家に資するさまざまなイベントを実施、世界に挑戦するチャレンジ精神旺盛な起業家を送り出してきた。

第8回目となる今回は、南米や東欧を含む海外や国内から200を超える応募があり、33社がセミファイナルに進出。多岐にわたる分野のビジネスプランを発表した。そのうち6社がファイナルに進出し、選考の結果、(株)HAKKI AFRICAがグランプリに輝いた。

当日は、スタートアップとの協業でビジネスチャンスを狙う大企業の新規事業担当者やベンチャーキャピタルも全国より多数参加し、スポンサー企業から多くの企業賞授与も行われた。

本会は、社会のニーズを迅速に拾い上げ、ビジネスにつなげるスタートアップと大企業の連携を積極的に支援することで、九州ひいては日本の経済発展に寄与する活動をこれからも継続していく。

【産業振興部 嶋田】

【実施概要】



The Pitch (優勝) (株)HAKKI AFRICA

(1)ピッチコンテスト

優勝：(株)HAKKI AFRICA (東京)

ビジネスモデル：信用不足で自分の車が持てないアフリカのタクシードライバーに対し、独自の信用スコアリングでファイナンスを行う。

〈同時開催〉

(2)X-Tech Match up 基調講演：

「生産者のこだわりが正に評価される世界を目指す『食ベチョコク』を用いた生産者のDX事例」
(株)ビビッドガーデン 代表取締役社長 秋元里奈氏

(3)X-Tech Match up パネルセッション：

「地場企業×地場スタートアップによるDXの実践現場」

岡野バルブ製造(株) 代表取締役 岡野武治氏、
(株)Regnio 代表取締役 中野雅俊氏

主催：(一社) StartupGoGo

共催：(一社)九州経済連合会

(株)FFGベンチャービジネスパートナーズ

協力：福岡市 (Ascensionと共同プロモーション)

福岡県Ruby・コンテンツビジネス振興会議

国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT)

台湾国立交通大学産業加速器 (IAPS, NCTU)

Fukuoka Growth Next (FGN)

後援：北九州市、国立研究開発法人新エネルギー・

産業技術総合開発機構 (NEDO)

スポンサー：三谷産業(株)、西日本鉄道(株)、(株)西日本

新聞社、(株)QTnet、(株)YE DIGITAL、凸版

印刷(株)、GMOペパボ(株)、九州旅客鉄道(株)、

(株)西日本FH 他多数

企業経営でのDXの取り組みについて、九州と沖縄それぞれの知見共有と意見交換

と き 12月13日(月)

ところ 那覇市・沖縄ハーバービューホテル

出席者 82名

第14回沖縄連携フォーラム

第14回沖縄連携フォーラムは、「共生・共感・共創社会に向けた九州・沖縄のチャレンジ」をテーマに、地域社会や企業の存続・成長に欠かせないDX(デジタルトランスフォーメーション)についての理解を深めることを目的に、実際にDX経営を展開している企業経営者にご講演いただき、知見の共有、意見交換を行った。



1. 沖縄連携フォーラムの概要

本フォーラムは、1991年から始めた九経連沖縄会員企業の懇談会を前身としており、九州・沖縄両地域の経済人の交流・親睦と相互理解を図ることを目的に2008年から開催している。その後2010年から、沖縄県経済団体会議(下記注参照)との共催体制とし、九州と沖縄が連携を強めることを目的に、双方の経済人が広く交流する場として運営してきている。

(注) 沖縄県経済団体会議は、以下の12の経済団体により構成。

沖縄県商工会議所連合会／沖縄経済同友会／沖縄県建設産業団体連合会／沖縄県経営者協会／沖縄県工業連合会／沖縄県商工会連合会／沖縄県中小企業団体中央会／沖縄観光コンベンションビューロー／沖縄県農業協同組合中央会／沖縄県漁業協同組合連合会／沖縄県情報通信関連産業団体連合会／沖縄県中小企業家同友会

2. 主催者挨拶



冒頭、本会の倉富純男会長が挨拶し、「経済界として、新型コロナウイルス感染防止に引き続き取り組むとともに、DXの取り組みや働き方改革などさまざまな仕組み

を見直し、社会経済の回復に向けて活動する。九州・沖縄のリソースを活かし、連携して、地域の創生と未来への投資を行い、反転攻勢に打って出たい」と述べた。

続いて、沖縄経済同友会の瀧辺美紀代表幹事(株)ジェイシーシー会長)より「沖縄県においては2022年以降の『新たな沖縄振興計画』を現在策定中である。観光・農業・物流などさまざまな産業におけるデジタル技術の活用を促し、産業の高度化・高付加価値化を目指しており、DXの加速が重要である」との挨拶があった。



3. 九州と沖縄からの報告

まず、九経連事務局より「九州将来ビジョン2030」の説明を行った。「共生・共感・共創アイランド九州」をコンセプトに、3つのありたい姿(新たな時代の成長エンジン、心の豊かさを成長につなぐ幸せコミュニティ、自立

型広域連携アイランド)からバックキャストして、ありたい社会を実現する10の課題について提起した。その中で、九経連として取り組む具体的活動(①ツール・ド・九州による観光産業の活性化 ②幸せコミュニティの指標の開発・浸透 ③AIビッグデータコンソーシアム創設 ④スマートシティを核とした広域連携等)について報告した。

続いて、沖縄セルラー電話(株)の國吉博樹取締役営業本部長より「沖縄のDX取り組みについて」と題し、沖縄の介護事業者のDXによる業務改善事例の紹介を交えて、デジタル化の流れ、DXの必要性、必然性について報告いただいた。

4. DX講演

次に、DX経営に関する講演ならびに意見交換が行われた(講演要旨は以下のとおり)。

(講演Ⅰ)「グッデイのデジタル経営への挑戦」

(講師) (株)グッデイ

代表取締役社長 柳瀬 隆志 氏

当社は、十余年前までメールも十分に使いこなせない状態で、「IT活用」にどう取り組むべきか分からなかった。そこで、ITを社員任せにするのではなく、自ら情報収集を行い、プログラミングやデータ分析など実際に手を動かし、試行錯誤しながら学んでいった。さらには、自分だけがITを理解しても仕方がないので、IT専門家でなくてもデータ活用できるよう社内の人材育成に取り組んできた。

その結果、売り場成功事例の共有化、在庫の適正化等が図られ、2015年以降、売上・利益が上昇傾向に転じている。



(講演Ⅱ)「DXとの向き合い方」

(講師) (株)グルーヴノーツ

代表取締役会長 佐々木 久美子 氏

ITやDXといった言葉があるが、DX=ITではない。ITを使ってデータ化し、データに基づいて経営の整理整頓を行い、それを踏まえ変化に沿った経営を行うことがDXである。ITやAIは技術に過ぎず、それ自体が経営を行うものではない。ITやAIに何をさせたいか、それを使って何をしたいか、何をすることがDXである。DXをきちんと理解しておくことが重要である。



5. 閉会挨拶

最後に、大嶺満議長(九経連副会長、沖縄電力(株)会長)が「沖縄は、コロナにより打撃を受けたが、ビジネス環境の変化はDXの取り組みを加速させた。デジタル技術を活用したリモートオフィスの整備やワーケーションは、リゾート地としての沖縄の競争力を高め、沖縄の発展に資するものと期待する。地元経済界としてDXを加速化させ、九経連と連携して取り組む」と挨拶を行い、閉会した。



【地域政策部 姉川】

1日(水) **【東京都・ホテルオークラ東京】**
顧問会

※本誌4ページ「活動報告」に詳細を掲載

1日(水) **【東京都・国土交通省、財務省、内閣府等】**
関門連携委員会要望活動(中国経済連合会と合同)

関門連携委員会では初となる委員会単独での要望活動を実施。国土交通省、財務省、内閣府等へ「関門地域の活性化推進に関する要望」を提出した。

本要望では、関門地域における「一体的発展・国土強靱化に資する道路ネットワークの整備拡充」「広域的な交流・連携に必要な空港・港湾の整備」「産業振興・地域活性化に資する支援」の観点から、道路・空港・港湾のほか、MaaS等の交通インフラ整備促進や産業振興による地方創生の必要性を訴えた。

3日(金)、4日(土) **【鹿児島市・城山ホテル鹿児島】**
九州デジタル経営塾 in 鹿児島
出席者：39名

企業経営のデジタルトランスフォーメーション(DX)に取り組む経営層を対象とした「九州デジタル経営塾」に、鹿児島県内の企業21社24名が参加し、2日間の合宿形式で開催した。

(株)トライアルホールディングスの西川晋二グループCIOの講演「流通小売企業のデジタルトランスフォーメーション挑戦事例」に始まり、(株)野村総合研究所の藤野直明主席研究員と梶野真弘上級コンサルタントによるワークショップ「成長戦略実現のためのDX」の受講を通して、DXで実現を目指すデジタル経営の要諦のエッセンスを体験・習得した。

6日(月) **【福岡市・九経連会議室】**
セキュリティ技術者(実務者)向け勉強会
出席者：30名

サイバーセキュリティ推進の取り組みの一環として、セキュリティ技術者(実務者)向け勉強会「手軽に使える各種ツールを活用したサイバーセキュリティ対策」を開催した。

(株)ラックの長谷川長一主席研究員を講師に迎え、サイバーセキュリティの最新動向やインターネット上のサービスを活用した怪しいメールやサイトの調査、情報収集など、座学、およびPCによる実機演習を行った。サイバー攻撃の脅威とその対策について理解を深める機会となった。

9日(木) **【Web開催】**
農林水産省若手幹部との意見交換会
出席者：20名(うち農林水産省17名)

「農林水産業の振興に関する国への要望事項」の取り扱い状況について、農林水産省輸出・国際局、林野庁、水産庁等の若手幹部と九経連農林水産部スタッフとの意見交換を実施した。

「要望の訴求力向上」というテーマであったにもかかわらず、「国の政策推進」という大局的な観点から有

益なご助言を数多くいただくとともに、これに留まらず、構成内容や提出時期等詳細なポイントについても話が及ぶなど、得難い時間を共有することができた。以後もやり取りが継続中であり、農林水産省の期待にも応えられるよう要望書の内容充実を図っていく。

10日(金) **【福岡県久留米市、筑後市・農研機構 筑後・久留米研究拠点】**
農林水産委員会企画部会 現場視察会
出席者：11名

農業分野の先進的な取り組み事例等を学び知見を深め、今後の部会活動に資することを目的とした現場視察会を実施。農業の抱えるさまざまな問題を克服するため、先端技術の研究開発・実証に取り組まれている農研機構九州沖縄農業研究センターの筑後・久留米研究拠点を視察した。

取り組み内容の説明を受け圃場見学を行い、活発な質疑応答が交わされ、イチゴ栽培におけるCO₂施用技術や気象リスクに対応する暖地水田栽培技術開発などを学ぶ良い機会となった。参加者からは「知らないことが多く、とても有益だった」等の声をいただいた。

13日(月) **【那覇市・沖縄ハーバービューホテル】**
第14回沖縄連携フォーラム

※本誌6～7ページ「活動報告」に詳細を掲載

13日(月) **【福岡市・電気ビルみらいホール】**
シンポジウム「新幹線を活かす地域づくり」
出席者：155名

2022年秋の西九州新幹線開業に向けた機運醸成と新幹線による地域活性化効果について幅広く情報発信を行うため、九州商工会議所連合会との共催でシンポジウムを開催した。

(公財)九州経済調査協会の岡野秀之事業開発部長より「新幹線効果やまちづくりについて」、(一社)インフラ経営研究所の小林茂専務理事より「新幹線の延伸と地域振興」と題し、それぞれご講演いただいた。熊本県立美術館の宮尾千加子参与らと交えたパネルディスカッションでは、新幹線を九州各地の地域・産業振興につなげる戦略や方策などについて、それぞれの立場から意見が出された。

※次号(3月号)にて詳細を掲載予定

14日(火) **【福岡市・九経連会議室(Web併催)】**
行財政委員会第5回自立型広域経済圏モデル検討WG
出席者：10名

自立型広域経済圏モデル検討にあたり、まず熊本城東マネジメント(株)の木下斉代表取締役より「地域経済関連の取り組み」について、次にベル・ホールディングス(株)の中西洋彰社長より「DXを活用した広域防災の取り組み」について、最後に世界経済フォーラム(WEF)第4次産業革命日本センターの平山雄太スマートシティプロジェクト長より「WEFスマートシティポリシー」について、それぞれご講演いただいた。

知財コラム Vol.8

「知的財産を事業に活かす」～「知的財産」と「産業財産権」の比較、活用～

知的財産権研究会

ビジネスにおいて企業が直面する知的財産（知財）に関する課題について、Q & A形式で九経連の知的財産権研究会からお伝えします。

第8回目は、知的財産を企業活動にどう活かすかを考える機会として、これまで7回の知財コラムを一度整理してみる意味で「知的財産」全般についてご説明させていただきます。

特許庁の「知的財産権を事業に活かそう」の以下のサイトに沿って解説してみます。

https://www.jpo.go.jp/support/chusho/index.html#chusho_chizai_about

Q. あらためて、「知的財産」と「産業財産権」について説明してください。

A 「知的財産」とは、人が知恵をしばって考える知的創作活動の成果であり、財産的価値のある創作物、情報、著作物などをいいます。

法律では、「知的財産基本法」において、以下のように定義されています。

「知的財産」とは、発明、考案、植物の新品種、意匠、著作物その他の人間の創造的活動により生み出されるもの（発見又は解明がされた自然の法則又は現象であって、産業上の利用可能性があるものを含む。）、商標、商号その他事業活動に用いられる商品又は役務（サービス）を表示するもの及び営業秘密その他の事業活動に有用な技術上又は営業上の情報をいう。

これに対して、「産業財産権」は、知的財産のうち、発明（例えば、スマホの制御ソフトや製造方法など）を保護する「特許権」、考案（スマホの内部構造など）を保護する「実用新案権」、デザイン（スマホの外観形状や画面デザイン）を保護する「意匠権」、および、社名に係る商標や商品名を保護する「商標権」のことをいい、特に、産業財産権に関する戦略の巧拙が、企業のビジネスに大きな影響を与えることがあります。

《知財コラム》

九経連・知的財産権研究会は2019年度下期よりコラム形式で寄稿し（11月号、2月号、6月号）、今回で8回目となります。

引き続き、会員の皆様のご質問やご要望を踏まえたテーマでコラムを展開させていきたいと考えています。

ここで、「知的財産」と「産業財産権」の関係を表にすると次の表1のように表すことができます（2019年11月号の第1回参照）。

表1. 知的財産と産業財産権

| 知的財産（※権利を保護する法律） | |
|--|-------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ■特許権（特許法） ■実用新案権（実用新案法） ■意匠権（意匠法） ■商標権（商標法） | 産業 財 産 権 |
| <ul style="list-style-type: none"> ■著作権（著作権法） ■回路配置権（半導体集積回路配置法） ■育成者権（種苗法） ■地理的表示（地理的表示法など） ■商品表示・商品形態（不正競争防止法） ■商号（会社法・商法） | |

企業としては、自社の企業活動の中から得られた成果について、各成果に関連するこれらの法律に基づく権利を取得して、自社のビジネスが競合企業に対して、競争上優位に立

てるように戦略的に活用することが望ましい
ということができます。

**Q. 知的財産権を取得したことによるメリッ
トについて説明してください。**

A 知的財産権を取得するだけでなく、
それらを活かすことが重要であること
は言うまでもありません。

それにより、次のような効果を得ることが
期待できます(表2)。

表2. 知的財産権取得・活用の効果

■有利な事業展開

- ・権利侵害に対する法的措置
- ・類似品の市場参入を防止(けん制)
- ・ライセンスによる事業拡大

※コメント：権利を取得することで、
その権利の独占的効力により、他社が
自社と同じものを勝手に実施している場
合は提訴して排除することができます。
また、権利には幅(広さ、範囲)があり
ますので、類似品が市場に出るのを抑
止できます。

■技術開発力の向上

- ・自社技術の強みを見える化
- ・競合者間における競争力を強化

※コメント：自社の技術と他社の特許
技術の特許公報などにより比較するこ
とが可能で、それにより、自社技術の強
みを客観的に把握し、今後強化するべき
技術の方向性を定めるのに役立ちます。
また、自社技術の特許権として独占す
ることにより競合企業に対するビジネス
上の優位な地位を得ることもできます。

■販売力の向上

- ・自社ブランドの構築
- ・技術力・オリジナリティのPR効果

※コメント：お客様のニーズに合致し
た使い勝手の良い新製品の販売、お客
様満足を実現することができる優れた
技術力、お客様の感性をくすぐる優れ
た製品デザイン、記憶に残る宣伝・広
告、気持ちの良いお客様対応など、さ
まざまな企業活動を通じてお客様から
得た信頼・ブランドは、企業にとって
価値のあるものです。

■社内活性化

- ・創意工夫を促進して社内活性化
- ・報奨制度などで社員のやる気アップ

※コメント：技術開発の仕事の成果と
して、企業に貢献する技術やデザイン
の特許権や意匠権を企業として取得す
るとともに、社員である発明者やデザ
イナーに報奨金を与えて、その功績に
報いることにより、発明者やデザイ
ナーがさらに良い技術やデザインを開
発する動機づけとなり、社内の活性化
を図ることも可能です。

この機会に、自社の強みとなる技術などの
知的財産を整理してみてはいかがでしょうか。
また、競合他社の特許技術などと比較するこ
とにより、自社の強みや弱みが視覚化でき
るので、今後の技術開発の方向性を定める参考
となることが期待できます。

(文責：九経連・知的財産権研究会
運営委員 山野秀二)

(知的財産権研究会開催概要)

- 定例会開催日：毎月第3金曜日 13:30~17:30
- 開催場所：九州経済連合会会議室
※オンライン参加もできます
- 年会費：法人12,000円 個人6,000円
- 研究会HP：
<http://k-chizaiken.sakura.ne.jp/htdocs/>
- 知財事項の質問およびお問い合わせ受付：
事務局 担当：嶋田 TEL：092-791-4278
E-mail：chiteki-info@kyukeiren.or.jp

(企業等のセキュリティ担当者の皆様へ)
**情報資産を守るため、機器のライフサイクルを意識し
EOLを管理しよう！**

一般社団法人鹿児島県サイバーセキュリティ協議会 代表理事 **西川 彰**

1. 機器のライフサイクル

サーバやネットワーク機器などを導入する際には、ライフサイクルを意識する必要がある。機器や仕組みを導入すれば終わりというわけではなく、EOL (End of Life) を迎えた後、速やかに後継機や別の手段に置き換え、運用に乗せる必要がある。EOLを迎えた場合、脆弱性情報が公開されてもパッチ (修正プログラム) が提供されない可能性がある。例えばそのような状況がUTM^{*1}やVPN^{*2}機器で起きた場合、情報資産を守るために導入している機器が、サイバー攻撃の踏み台になってしまうことがある。導入したはいいが、その後の運用ルールを作成し、運用に乗せる必要があることを忘れてはならない。導入してからサポート終了までを考えるのもセキュリティ担当者の仕事である。

※1 統合脅威管理 (Unified Threat Management) を行う機器。

※2 仮想専用網 (Virtual Private Network)

2. 脆弱性情報の確認

セキュリティ担当者は、機器の脆弱性情報を定期的に確認し、対処する必要がある。理想としては、脆弱性情報をリアルタイムにウォッチし、影響度が高い脆弱性であればすぐにアップデートを適用し、影響度が中から小であれば、折をみてアップデートするということが考えられる。

しかし組織の事情によっては、脆弱性情報をリアルタイムでウォッチするのは現実的には難しいのではないだろうか。中小企業においては専任のセキュリティ担当者を配置することは少ない。そういった組織におすすめるのは、脆弱性情報をウォッチする日を決めることである。週次にするのか、月次にするのかはどこまでリスクを許容するかによって決めればよい。例えば週次ならば、毎週火曜日の朝10時にJVN^{*3}などの情報をもとに、自分たちが使用している機器の脆弱性情報が出ていないかを確認し、脆弱性情報があれば、

いつアップデートを適用するのかを検討し、社内にアナウンスを行い、アップデートを行うなどという運用などが考えられる。

※3 脆弱性対策情報ポータルサイト (Japan Vulnerability Notes)

3. 対応は経営層と共に

前述のとおり、セキュリティ担当者は、さまざまな事情により、リアルタイムで脆弱性情報をウォッチし、すぐにアップデートを適用するのは困難な状況である。また、機器をアップデートしている期間においてはネットワークが使えなくなる場合があり、業務が停止することも考慮しておかねばならない。以上のリスクについて、あらかじめ、運用の決め事として、経営層などにも説明し、許可を得ておく必要がある。リスクを受容できるかどうかの判断は、セキュリティ担当者が判断材料を提供し、最終的には経営層で行うべきである。

4. まとめ

前述のUTMやVPN等の機器を導入している企業においては、多くの企業がEOLを管理できておらず、中にはEOLを迎えてもなお、機器を継続使用している企業も少なくない。自組織のIT担当者やITベンダーの担当者は、導入時とEOLを迎えた時とでは変わっていることも多く、当時どういう経緯で導入したのかを把握していないこともある。中にはEOLを迎えることを通知しないITベンダーや、逆に、ITベンダーからメールで通知していても、導入企業のIT担当者がそれを見逃していた事例もある。EOLを迎えるからといって突然使えなくなるものでもないため、対応が遅れてしまう。

EOL情報を管理し、遅くともその半年前までには次に導入する機器や手段を検討する必要がある。導入して終わりではなく、次の導入に向けて準備が始まるのである。そのようにセキュリティは、常にライフサイクルを意識しながら行っていく必要がある。

法人紹介

弊団体の掲げるミッションは、地域公共交通をはじめとするさまざまな次世代モビリティサービスを対象に、最先端のITS (MaaSツール、CASEテクノロジー等)、脱カーボン、クリーン省エネルギーを活用した研究開発、実証・実装事業を通じて普及促進を図ることによる、地域社会における安全安心、快適性、利便性の提供、さらにはグローバルな住み良い「まちづくり」の実現です。

これまで推進してきた主な事業は、自動運転技術研究の一環として産官学連携によるセミナー開催、MaaS (Mobility as a Service) 実装のデザイン、ITS関連団体との技術交流会による人脈作り、会員企業間のコラボレーションを発端に新規事業の構築および支援等を基軸とした活動です。また、国内のITS関連技術を推進している企業および団体と連携しながら、国内外のITS最新技術等を会員企業様中心に関連各所へ発信しております。一方、今日のパンデミック以降、感染を防ぐモビリティサービスのデータ共有・活用・流通するためのデジタル化が欠かせない環境下においては、各業界で共通するデータの標準化、ビジネスアイデアのジョイント、DX人材育成・人事交流等の加速化を推し進めることが重要と考えます。今年度の活動方針の一環ですが、一部地方自治体とMaaS事業者のビジネスマッチング企画・実証の検討を進めており、来年度以降は九州域内の地方自治体へ展開する予定です。

弊団体は今後も九州域内の次世代モビリティサービスの事業化に向けて推進してまいります。特に中山間地における地域課題解決、高齢者に寄り添った多様な移動を快適化する研究開発等を進め、各共創事業者間の潤滑油として積極的に関与しながら、持続可能な社会実現に貢献する地域スマートシティ化を目指します。

| | |
|--------|---|
| 法人名 | 一般社団法人EMoBIA (エモビア) |
| 設立 | 2019年4月1日 |
| 代表者 | 代表理事 浦 正勝 |
| 事業内容 | 「最適なモビリティ社会を共創」 ①調査研究および開発 ②ビジネスモデルの発見・発明・創出 ③地域まちづくり ④人材交流・育成・協業 ⑤各種講演会・セミナー開催 ⑥国際協力・協業 |
| 従業員数 | 事務局 4名 |
| 所在地 | 〒814-0001 福岡市早良区百道浜3-8-33 福岡システムLSI総合開発センター702号 |
| 電話番号 | 092-983-5749 |
| ホームページ | https://emobia.or.jp |

法人概要

EMoBIA (Everyone's Mobility by ITS Association) は、国内では20年ぶりに開催された「アジア太平洋地域ITSフォーラム福岡大会2018」の事業成果を継承し、地域新モビリティサービス事業化を目指すための後継団体として2019年4月1日に設立しました。



代表理事 浦 正勝

私たちは、3年目にあたり、皆様のご支援のもとさらなる事業継続強化を目指し、鋭意活動中です。昨今のモビリティ大変革時代の中、サービスの基本となる人間中心のモビリティ社会システムを構築することで、会員企業様と共に事業価値を高めていくのが弊団体の大きな役割と考えております。



ビジネスデザイン検討会の様子

法人紹介

「歯を愛す」との銘を社名に掲げる株式会社愛歯(あいし)は、歯科治療に欠くことのできない補綴物(さまざまな義歯や矯正装置の総称)を月に約3万5千人分製作し、全国の歯科医院・患者様へとお届けしている総合歯科技工所です。

全国約2万軒の歯科技工所は、就業者1名の事業所が約77%、5名未満が約95%という数字にうかがえるように、大変専門性が高く労働集約型の事業課題を抱えています。弊社もその例に漏れず、1978年の創業は、現在の代表取締役・高橋1名からのスタート(熊本市北区大窪)でした。その後『日本一』を夢見つつ、『高い技術』を目指す事業努力を重ね、1989年同地に新社屋を竣工、1993年株式会社愛歯設立に至ります。翌1994年からは、九州各地への営業所展開へとさらに事業を拡大し、2014年には、菊池郡菊陽町に現本社屋を竣工、最新のCAD/CAM(コンピューターによる設計・製造)システムを導入し、130名の歯科技工士が就業しています。現在では、西日本各地に15営業所を設置(うち6カ所に製造所を併設)する事業規模に至っております。さらには愛歯の技工技術を海外に広めていく事業の一環として、ベトナムに拠点を設置して活動を開始しました。

また、歯科技工士の立場として義歯特有のニオイに対する解決策を探求する姿勢から、高抗菌性を発揮する銀イオンを使用することで細菌発生を抑える特殊技術の開発・商品化に至り、2013年株式会社ピカッシュを設立しました。その後、この技術を発展させつつ「健康への贈り物」をコンセプトとする事業内容へと変革する中、コロナ禍の現在、抗菌スプレー“スマイルワン”や、より効率的な抗菌環境の維持に寄与する“ミストガン”の開発・商品化に至りました。

これからも、さらに多くの方々の健康と笑顔のために歩んでまいります。

| | |
|--------|---|
| 法人名 | 株式会社愛歯 |
| 創業 | 1978年4月1日 |
| 代表者 | 代表取締役 高橋 昌平 |
| 事業内容 | 歯科技工所 補綴物(入れ歯・差し歯・矯正装置等)の歯科技工物製作、口腔内ケア商品・除菌商品の販売 |
| 従業員数 | 114名 |
| 本社所在地 | 〒869-1102 熊本県菊池郡菊陽町原水2849-1 |
| 電話番号 | 096-340-5839 |
| 関連会社等 | 株式会社ピカッシュ、株式会社キャストینگアイ 他 |
| ホームページ | https://www.aishi.jp |

法人概要

私は、8年間の医院勤務を経て28歳で弊社前身の愛歯技工所を開設いたしました。その際『歯を愛する技工士たれ』との意を込めた社名を時の院長・故出口瑞男先生から戴き、その志は現在も深く受け継がれております。さらに「進歩と調和」を企業理念に掲げ、業務に関わる成長・発展と社内・社会との調和・貢献を旨として経営に臨んでおります。



代表取締役 高橋 昌平

歯科業界もデジタル産業革命の直中にありますが、今後も、全社員物心両面の幸せと補綴物とピカッシュを通じて歯科医院と患者様と社会へ貢献することを誓い、信念に則してまいります。



本社外観

沖縄観光通信

～ミス沖縄がおススメする沖縄観光情報～

(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー (OCVB)



ミス沖縄スカイプルー
岩本華奈

皆さま、はいたい！ミス沖縄スカイプルーの岩本華奈です。
今月は、沖縄本島北部本部町にある「熱帯ドリームセンター」をご紹介します。熱帯ドリームセンターは、沖縄の有名な観光スポット沖縄美ら海水族館のある「海洋博公園」内にあり、ぜひ足を運んでいただきたい施設です。

日々、YouTubeやFacebook、Instagramを通して、沖縄の魅力をお届けしております。ぜひチャンネル登録&いいねをお願いします！

■「ミス沖縄公式YouTubeチャンネル」はこちら <https://bit.ly/2Fa1tIW>



新型コロナウイルス感染予防・拡散防止に取り組んでいます！

～熱帯ドリームセンター～ (沖縄県国頭郡本部町字石川424番地)

この施設は、熱帯、亜熱帯の植物と古代遺跡のような建物が一体となり、幻想的な世界が広がる植物園です。常時2,000株以上のランが咲き誇る3つの温室とトロピカルフルーツや水生植物を鑑賞できる2つの温室があり、「花の女王」と呼ばれるカトレアや鮮やかな色が美しいコショウラン、世界一大きな果実パラミツなど魅力ある植物がたくさん展示されており、南国の楽園探検を楽しむことができます。

レンガ壁でできた古代遺跡のような建物も美しく、鮮やかな植物とレンガ壁の建物が不思議な美しい世界をつくりだし、古代の植物園に迷い込んだような感覚になり、思わず写真を撮りたくなるようなスポットが至る所にあります。

熱帯ドリームセンターのシンボル、高さ36メートルの遠見台からは、植物が広がる園内と海、海の向こうには伊江島を望むことができ、絶景が広がっています。

美しい植物と古代遺跡のような建物がつくりだす非日常の楽園を楽しめる熱帯ドリームセンター。皆さまも楽園を探検してみたいはいかがでしょうか。

ミス沖縄のYouTubeチャンネル「ミス沖縄のおきなわ観光TV」でもご紹介しています。ぜひご覧ください♪



【今月のおススメ】 ターンム (田芋)

沖縄でよく食べられている芋「ターンム (田芋)」。

水田で栽培されるため、水芋とも呼ばれます。里芋の一種ですが、加熱すると普通の里芋に比べて粘り気が強く、もちりとした食感になります。

また、親芋の周りに小さな子芋がたくさんできるため、子孫繁栄の縁起物として沖縄ではお祝い料理に欠かせない食材です。でんがく (沖縄風きんとん) や唐揚げにして食べられていますよ♪田芋の唐揚げは、もちりとした食感に優しい甘さが広がりとても美味しいですよ♪



ミス沖縄紹介Webページ <https://www.ocvb.or.jp/activities/missOkinawa> も併せてご覧ください。



皆さまへ沖縄の魅力をお届けいたします。





九州観光推進機構 ニュース

九州観光ポータルサイト「九州旅ネット」で
旅行者に人気のモデルコースをご紹介します！

⑧ 福岡発！佐賀から長崎へ九州西部の旅

このコースのエリア

佐賀県 長崎県

日数

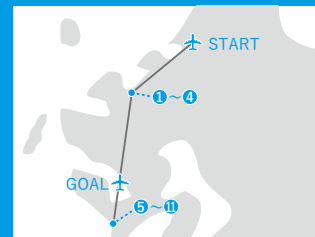
1泊2日

おすすめシーズン

春 冬

一人旅／家族旅行

歴史



「日本の伝統を受け継ぐ城下町」と、「異国情緒溢れる街並み」。そんな魅力の異なるスポットをハシゴする大満足の1泊2日・九州西部旅。五層の天守閣が見事な「唐津城」や、世界遺産に登録された「グラバー園」を巡ります。長崎の夜がランタンの光に照らされる2月上旬～下旬の「長崎ランタンフェスティバル」開催時期や、唐津城や立山公園の桜が見頃を迎える3月下旬～4月上旬頃がおすすめ！

START

1日目 福岡空港

▼ 車で約1時間 ▼

① 虹の松原

虹のような弧を描く松原を見ながら爽快にドライブ！車を停めて海岸に出ると、目の前には青色の海と白い砂浜が視界いっぱいに広がります。散策中の休憩タイムでは、唐津を代表するお菓子「松露饅頭」をつまんでみては？ 店内で焼いているお店もあるので、焼きたてを味わうこともできるかも！

唐津湾の海岸に続く虹の松原は、国の特別名勝で、三保の松原、気比の松原と共に「日本三大松原」に数えられる景勝地です。長さ約5km、幅約1kmにわたり、約100万本のクロマツが群生しています。砂浜は限りなく白く、深い青色の海とのコントラストが見事です。



② 松露饅頭

唐津を代表するお菓子の一つ。文禄・慶長の役後に、高麗から伝わった焼き饅頭が原型といわれています。「松露」とは、毎年春・秋に虹の松原に現れるコロッと丸いキノコの名前。唐津城近くの「大原老舗」唐津本店では、饅頭を焼いているのを見ることができます。

▼ 車で約15分 ▼

③ 唐津城 舞鶴公園

唐津市のシンボルともいえる唐津城は、1608年、初代唐津藩藩主・寺沢志摩守広高が、1602年から7年の歳月をかけて築城しました。唐津城は満島山と呼ばれる陸続きの島にあり、この満島山を本丸としていました。城内は石垣をめぐるし、堀が掘られていたそうです。1871年、廃藩置県によって廃城となり、その本丸跡は舞鶴公園となりました。現在の姿は1966年に復元されたもので、5層の見事な天守閣が堂々とそびえています。この天守閣を鶴の頭に見立て、左右に広がる松原が、鶴が翼を広げた形に似ていることから、唐津城は別名舞鶴城ともいわれています。城内部には、藩制時代を物語る貴重な資料や武具、唐津焼の資料、考古資料などが展示されています。天守閣の5階は展望台になっていて、虹の松原や玄界灘、松浦潟など抜群の眺望が開けています。唐津城の天守閣までは、石段を歩いて登るほか、エレベーターを利用して登ることができます。城周辺にある舞鶴公園は、桜や藤の花で彩られる花の名所です。夜はライトアップされ、美しい天守閣の姿を眺めることができます。



④ 唐津の城下町

唐津城下には、今も石垣や堀跡、江戸からの屋号を残した老舗が各所にあります。寺院の集中する寺町や、昔の町並みが色濃く残る魚屋町などでは、当時の面影が偲ばれます。

▼ 車で約1時間30分 ▼

⑤ 長崎新地中華街

日本三大中華街の一つでもある「長崎新地中華街」を散策。2月上旬～下旬には『長崎ランタンフェスティバル』が行われ、ランタンのオブジェが長崎の夜を赤く明るく照らします。もともと華僑の人々が旧正月を祝うための行事として始めましたが、年々規模が拡大し、長崎の一大行事となっています。



START

2日目 長崎市内

▼ 車で約10分 ▼

2日目は、長崎駅の東側、立山公園周辺を散策。長崎奉行所を復元した博物館で、鎖国時代の海外交流について学んだり、唐寺の影響を大きく受けるお寺で、その個性的な建築に触れたりすることもできます。古くから外国と積極的に交流を行ってきた長崎だからこそ、独特の歴史と文化を紐解いてみよう。

6 立山公園

立山や西山にまたがる丘陵地を公園にした立山公園。長崎市内の公園の中で最も桜が多く、3月下旬から4月上旬の見頃を迎えると、約700本の桜が咲き乱れます。春には多くの花見客が訪れるのはもちろん、グラウンドが隣接しているため、スポーツなどの利用客も多数。長いローラースライダーや遊具のある広場で子どもが遊んだり、眺めのいい展望台もあり、幅広い年齢層に親しまれています。



7 長崎歴史文化博物館

江戸時代、長崎奉行所立山役所が置かれていた場所に建物を復元し、現代的な博物館としての機能も共寄せさせたユニークな博物館。近世長崎の歴史文化に関わる歴史資料、美術工芸品などの貴重な資料を観ることができ、「海外交流史」をテーマとした博物館です。映像や体験型の展示を通して、子どもから大人まで楽しめます。



8 聖福寺

1677年に建立。興福寺・福濟寺・崇福寺と共に「長崎四福寺」とも呼ばれ、福を呼ぶ寺として人気があります。唐寺の風情が色濃く漂い、長崎一大きな梵鐘や鬼瓦を埋め込んだ塀など見どころが多数あります。



9 興福寺

当時、日本に来る中国人の中にはキリスト教徒がいたため、長崎奉行は唐人の宗教についても厳重に調査をしていましたが、在留唐人等は自ら進んでその証明を行い、かつ、海上の安全祈願と故人の冥福を祈るため寺を建てようということになりました。第2代住職の黙子如定は眼鏡橋を架設したことで有名であり、第3代の逸然は長崎漢画の祖として有名です。

また、逸然は当時中国でも高僧の評判が高かった隠元を招くことに成功し、全国から多くの僧がここへ教えを受けに来ました。境内には国指定重要文化財の唐人屋敷住宅門や県指定有形文化財の三江会所の門(江南・浙江・江西)、日本三聖堂の一つといわれた長崎聖堂の大成殿と杏壇門(大学門)があります。



▼ 車で約10分 ▼

10 グラバー園

世界文化遺産に登録された「旧グラバー住宅」をはじめ、異国情緒溢れる園内を見学。船が行き交う長崎港や長崎市街地を一望できる眺望をはじめ、西洋文化が色濃く残る建築の数々、至る所に咲き誇る四季を感じる花々、触れると幸せになれるという噂のハートストーンなど、見どころ満載です。



◇旧グラバー住宅

長崎を代表する観光施設「グラバー園」の核となる洋館。1859年に長崎に来て貿易業を営むかたわら、日本の近代化に大きく貢献した英国人トーマス・ブレイク・グラバーの遺構で、日本最古の洋風木造建築として1961年に国の重要文化財に指定されました。1939年から三菱重工業長崎造船所の所有となっていたが、1957年に同社創業100周年記念事業の一つとして長崎市に寄贈されました。

◇三浦環像

オペラ『蝶々夫人(マダム・バタフライ)』は、長崎外国人居留地に住む女性の悲恋が話の素材となったといわれており、園内には、世界的プリマドンナ「三浦環像」と作曲家「ジャコモ・プッチーニ像」が展示されています。



◇旧自由亭

江戸時代末期にオープンした日本人シェフによる初めての西洋料理レストラン「自由亭」の跡。現在建物の2階は、港を一望できる喫茶室として利用することができます。オランダ人が考案した「ダッチコーヒー」がおすすめ。



▼ 徒歩で約5分 ▼

11 長崎の夜景

異国情緒溢れる洋風建築、石畳の坂、船が行き来し活気溢れる港の風景…さまざまな景観を楽しめるのも長崎の魅力の一つ。市内を巡って、自分だけのお気に入りの風景を見つけてみよう。特に、稲佐山・鍋冠山・風頭山は、「世界新三大夜景」に認定された長崎の夜景を楽しむことができるスポット。

◇稲佐山

長崎市のランドマーク的存在で、夜景鑑賞に大変人気のスポットです。長崎の夜景は、「夜景サミット2012 in 長崎」において、香港、モナコと共に「世界新三大夜景」に選ばれました。また、2015年には、神戸、札幌と共に「日本新三大夜景」にも選ばれました。稲佐山から眺める夜景は、「1000万ドルの夜景」と称されるほど美しく、一見の価値あり！です。2011年4月には展望台がリニューアルオープンし、床に散りばめられた照明による光の空間が、ロマンチックな雰囲気演出しています。夜景だけでなく、晴れた日の昼間には、長崎市街地はもちろんのこと、雲仙、天草、五島列島まで眺めることができます。稲佐山公園は、憩いの空間やレクリエーションの場として人々に親しまれており、稲佐山中腹には、大駐車場を完備したイベント広場、野外音楽堂があり、今やさまざまなコンサートでもお馴染みとなっています。稲佐山山頂へは、ロープウェイでも行くことができます。市内中心部にあるホテル等、6カ所を回遊し、長崎ロープウェイ淵神社駅までの往復を無料で行う無料循環バスが運行されています。長崎ロープウェイのゴンドラは2011年にイタリアのフェラーリを手掛けたデザイナーの手によってリニューアルされたもので、360度ガラス張りのゴンドラからの眺めもまた格別です。また、中腹駐車場横の中腹駅からは長崎稲佐山スロープカーが運行されています。



▼ 車で約1時間 ▼

GOAL 長崎空港

九州観光推進機構のホームページ <https://www.welcomekyushu.jp> 「九州旅ネット」も併せてご覧ください。

【本件問い合わせ先】(一社)九州観光推進機構 (TEL: 092-751-2951)

地域 動向

九州・山口

山口 Yamaguchi



「やまぐるめぐり～おつまみシリーズ～」 を販売中

山口県では、「オールやまぐち」による県産品の売り込み強化に取り組んでおり、全19市町参画のもと、地域で掘り起こされた多様な素材を活用したご当地商品「やまぐるめぐり」を開発している。

ブランド名の「やまぐるめぐり」には、「19の市町からなる山口県の土地で根付いたゆかりのある素材や料理を通じて魅力を知り、味わってほしい。そして山口県を身近に感じてもらいたい」という思いと、「食を通して山口を巡る」の意味が込められている。

今年度は、コロナにより家で過ごす時間が増える中、お酒のお供として楽しんでいただきたいという思いから、新たに「おつまみシリーズ」の販売を開始している。

「やまぐるめぐり」は、包装容器・デザインが統一規格になっており、好きな商品をセレクトして、お土産や贈り物としても利用できる。

また、山口県住みます芸人のふく太郎・ふく子が、19市町のやまぐるめぐりを活用したレシピの提案や地域の紹介などを行うやまぐるめぐりPR動画をYouTubeで配信しているため、ぜひご覧いただきたい。



《通販サイト》

地元のいいものセレクトショップjimoto (じもっと)

<https://www.ymtc-webstore.jp>

※こちらからやまぐるめぐりPR動画も視聴可



《問い合わせ先》

山口県商政課 TEL：083-933-3110

福岡 Fukuoka



再エネ余剰電力からCO₂フリー水素を製造し 県内各地で利活用する実証事業を本格スタート！

「2050年カーボンニュートラル」のキーテクノロジーとされる水素。福岡県では、水素エネルギー社会の実現に向け、全国に先駆けて、オールジャパンの産

学官連携組織「福岡水素エネルギー戦略会議」を設立し、研究開発や人材の育成、関連産業の育成・集積などの取り組みを推進してきた。

製造から利用の過程でCO₂を排出しない再エネ由来のCO₂フリー水素が注目されている。本県では、環境省の事業を活用し、北九州市や民間企業と連携して、北九州市響灘地区に集積する太陽光発電や風力発電といった再エネ余剰電力から、CO₂フリー水素を製造し、県内各地に運搬して利用する実証事業を本格的に開始した。

この実証事業を通して、県内におけるCO₂フリー水素のサプライチェーンモデルの構築を目指していく。

《問い合わせ先》

福岡県新産業振興課 TEL：092-643-3448



CO₂フリー水素を製造する水電解装置

佐賀 Saga



『知事家事チャレンジ』

～知事見えない家事を知る～ムービー公開中！

「九州はひとつ」の理念のもと、九州・山口各県および経済界が共同で、佐賀県、宮崎県、鹿児島県の3人の知事が「見えない家事」にチャレンジするムービーを制作し、1月31日愛妻の日に公開した。

メインテーマは「夫婦で仲良く『共家事(ともかじ)』をしよう」。男性が認識している以上に、女性が行っている家事・育児の内容は多岐にわたる。また、2020年に実施した調査によると、家事を行う時間の男女比は、平日で4.5倍、休日で3.2倍と大きな差が出ており、女性の負担が大きい現状がうかがえる。その原因の一つが、洗濯前のポケットチェックやゴミ捨て前のゴミの分別、食材の買い出しやメニュー決めなど、ひとつひとつは些細な作業かもしれないが、積み重なれば大きな負担になる「見えない家事」や「(家事に係る)一手間」の存在である。

3知事は「見えない家事」を体験し、その大切さや大変さを実感。ムービー最後の、九州各県知事・九経連会長からの「共家事」宣言メッセージも必見である。

夫が「見えない家事」の存在に気づくことで、妻への思いやりや感謝の気持ちが芽生え、自らも家事に従事しよう！という行動改革につなげたい、という思いが込められたリアル家事ドキュメンタリームービー。ぜひご覧いただきたい。

《問い合わせ先》

佐賀県男女参画・女性の活躍推進課
TEL：0952-25-7062



知事家事チャレンジ

検索



長崎 Nagasaki



日本橋長崎館にて テストマーケティングを実施！

東京都中央区にある長崎県のアンテナショップ「日本橋 長崎館」では、首都圏の消費者ニーズなどを収集するテストマーケティングを行う「チャレンジコーナー」を設置している。

昨年8月から試行的に実施し、11月から本格始動。市町ごとに1カ月間実施しており、新上五島町(牡蠣のハーフコンフィ)と島原市(赤しそジュース、ハンバーグ)に引き続き、第3弾として2月15日～3月14日の期間で雲仙市が全粒粉うどんと手延べラーメンを販売予定。期間中に対象商品を購入し、アンケートに答えると、長崎県産品が抽選で当たるキャンペーンも併せて実施している。

この機会にぜひ、多くの方に商品を手にとっていただき、商品の販売を通じて得られた情報を事業者へフィードバックすることにより、新商品開発や商品改良につなげていきたい。

《問い合わせ先》

長崎県物産ブランド推進課
TEL：095-895-2623



ただきたい」、熊本国際空港株式会社の新原昇平社長は「空港を訪れる皆様には「麦わらの一味」と共に思い出をつくる場所として、多くの皆様にご利用いただきたい」と述べた。



©O/S

パネルの設置は2年間を予定している。

ONE PIECE熊本復興プロジェクト特設サイト
《問い合わせ先》

熊本県広報グループ 企画・広報班
TEL：096-333-2027



大分 Oita



「全国竹の大会 大分県大会 I N別府」 ～竹の可能性・伝統工芸品からエコ素材まで～

大分県は、真竹(マダケ)竹材の生産量が日本一、竹林面積は全国2位と日本有数の竹の産地である。今年2月、全国の竹工芸・竹産業の関係者が集う「第62回全国竹の大会 大分県大会 I N別府」(主催：全日本竹産業連合会他)が別府市で開催される。大分県での開催は、2005年以来通算5回目となる。

大分の良質な竹材から作られる竹工芸品は、古くから『別府竹細工』として親しまれてきた。大分県は、伝統技術の継承、竹産業の振興を目的に、全国で唯一公立の竹細工教育・訓練施設「竹工芸訓練センター」を設け、人材の育成に努めている。また、竹をモチーフとしたデザインや竹材を用いた建築物の造成にも注力しており、県立美術館の外壁や内装、県立武道スポーツセンターのエントランスホールの壁や天井などに取り入れられている。

近年のSDGsの気運の高まりにより、自然素材である「竹」が見直され、需要の追い風にと業界の期待は大きい。大分大学理工学部では、竹を原料にした「セルロースナノファイバー」の生成の研究が進んでおり、脱プラスチック・省プラスチックに貢献するエコ素材としても、今後幅広い用途での活用が期待される。

大会テーマ「つなごっちゃ竹みらい」のとおり、今大会が県内外の竹産業に関わる方々が連携し、未来に向けて新しいことに取り組む契機になることを期待している。

※コロナウイルス感染状況によっては、延期になる可能性があります。

《問い合わせ先》

大分県商業・サービス業振興課
TEL：097-506-3286



伝統的工芸品 別府竹細工

熊本 Kumamoto



阿蘇くまもと空港に「麦わらの一味」巨大壁面パネルを設置！

熊本県では、県出身の漫画家・尾田栄一郎氏が描く人気漫画『ONE PIECE』と連携した復興プロジェクトを進めており、被災した各地に麦わらの一味の銅像を設置する「ヒノ国」復興編を展開している。

この一環として、2021年12月4日(土)、阿蘇くまもと空港に「麦わらの一味」の巨大壁面パネルを設置した。パネルは、阿蘇くまもと空港の国内線ターミナルビル西側の壁面に設置しており、麦わらの一味の像を紹介する幅28.8メートル・高さ3.9メートルのパネルと、フォトスポットを兼ねた「ONE PIECE熊本復興プロジェクト」のイラストが描かれている幅3.2メートル・高さ5.8メートルのパネルの2種類。

パネル公開初日には、熊本県、熊本国際空港株式会社等の関係者が出席し、お披露目式を実施。蒲島郁夫知事は「パネルのある空港を起点として、県内各地で復興の手助けに励む仲間たちに実際に会いに行ってい

宮崎 Miyazaki



新県立宮崎病院 オープン

今年1月、全面改築を終えた新たな県立宮崎病院が開院した。

県立宮崎病院は、大正10年に開設し、昨年100周年を迎えた。旧病院は、昭和58年の改築以来、38年が経過し、施設の老朽化や、病室、手術室などのスペース確保の問題を抱えていた。さらに、南海トラフ地震などが想定される中での基幹災害拠点病院としての機能強化や、地域医療を充実させるための診療機能向上などの観点から、早急な整備が必要となっていた。

こうした状況を踏まえ、県では3年におよぶ全面改築を実施。地上8階建て、屋上にはヘリポートを備え、十分な耐震性能を確保するとともに、浸水対策として地盤面を上げるなど、大規模災害時においても、必要な医療を継続して提供できる施設構造を採用している。

新病院では、「断らない救急」を実現するため、救急部門を1階に集約するなど、機能的な部門配置とすることで、本病院でしか対応することができない急性期の患者に対し、より適確に治療にあたることできる。

また、手術室やICU(集中治療室)の増室(床)とともに、手術支援ロボットを導入することにより、傷口が小さく、出血が少ないなど、患者への負担が少ない手術も可能になった。

コロナ禍の中での開院を迎える新県立宮崎病院。新型コロナウイルス感染症を含めた感染症対策を強化するなど、さらに充実した医療提供体制で全県レベルの高度・急性期医療を担う中核病院としての役割を果たし、県民から愛され、信頼される病院を目指す。



《問い合わせ先》

宮崎県病院局県立病院整備推進室

TEL : 0985-26-7629

鹿児島 Kagoshima



ようこそ！鹿児島へ ～春季キャンプシーズンの到来～

鹿児島県は、温暖な気候や豊富な食、温泉に恵まれていることから、毎年、多くのプロスポーツチームが春季キャンプに訪れている。

今春も、19年連続19回目となる清水エスパルスや、21年連続25回目となるジュビロ磐田をはじめ、多数のプロスポーツチームが続々とキャンプインし、新シーズンに向けて熱のこもったトレーニングに励んでいる。

新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年同様、チームによっては、練習の公開やファンサービスを中止しているが、県においては、直接キャンプ地に行くことができない方にもお楽しみいただけるよう、鹿児島県スポーツ振興課Instagram「どんすぽ」

において、「かごしま春季キャンプ応援キャンペーン」を開催している。

各チーム・選手からのメッセージを含む春季キャンプに関する投稿に「応援コメント」を送るだけで、チームグッズや、鹿児島黒牛などの県内の特産品が当たる抽選会に応募できる仕組みとなっている。

ぜひ、本キャンペーンにご参加いただき、コロナ禍の逆境に立ち向かうチーム・選手たちを、「どんすぽ」を通じて応援していただきたい。



《問い合わせ先》

鹿児島県スポーツ振興課 TEL : 099-286-3010

沖縄 Okinawa



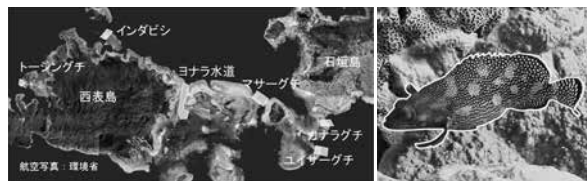
持続的な漁業に向け、資源管理 の新ルールが成立

2021年4月1日に、八重山漁業協同組合が管理する沿岸性魚類の産卵場保護区の6海域(写真左)において、沖縄海区漁業調整委員会指示という公的ルールが新たに成立された。

当該海域では、ナミハタ(写真右)やイソフエフキなど沿岸性魚類の産卵場保護を目的として、これまでも八重山漁業協同組合と沖縄県水産海洋技術センター石垣支所および国立研究開発法人水産研究・教育機構水産技術研究所八重山庁舎が連携し、地元漁業者を中心とした自主的な資源管理に取り組んできた。今般、沖縄県水産海洋技術センター石垣支所で実施した資源解析により、ナミハタの資源状況が増加に転じたことが推定され、これまでの資源管理の有効性が科学的にも評価されることとなった。

これらの取り組みや研究成果から、沖縄海区漁業調整委員会において、遊漁者も含め、保護区内での水産動植物の採捕を禁止することが決定され、海域を利用する関係者全体で産卵場を守る仕組みの成立へとつながった。

八重山のサンゴ礁で水揚げされる魚は、漁業対象の水産資源としての役割のほかにも、郷土料理の食材として地元の食文化を支える重要な役割を果たしている。これらの水産資源を末永く利用するために、関係者一丸となって資源管理に取り組んでおり、今後の着実な資源回復が期待される。



《問い合わせ先》

沖縄県水産海洋技術センター石垣支所

TEL : 0980-88-2255

令和2年7月豪雨災害からの復興のシンボル・国宝青井阿蘇神社 (熊本県)

熊本県人吉市にある青井阿蘇神社は、806(大同元)年に創建され、1200年以上の歴史を誇る神社です。かやぶき屋根が特徴的な社殿や楼門など5棟が国宝に指定されており、日本遺産「相良700年が生んだ保守と進取の文化～日本でもっとも豊かな隠れ里～人吉球磨～」の構成文化財の一つとなっています。

令和2年7月豪雨災害により、近くを流れる球磨川などが氾濫したため、社殿が床上浸水し、神社の前にある禊橋の欄干が壊れるなど、甚大な被害を受けました。

しかし、多くのボランティアや地域の方々のご支援により、復旧作業が進められ、現在は、多くの方が参拝に訪れています。また、人吉市内の被災したお店や宿泊施設、観光施設なども徐々に再開し始めています。

そして、復興の途上にある人吉球磨地域を元気づけ、水害前よりも魅力的な地域にするため、「人吉ひかりの復興プロジェクト」により、市中心部に位置する本神社等のライトアップが行われました。

古くからこの地を見守り続けている青井阿蘇神社。令和2年7月豪雨災害から復活し、人吉球磨地域が賑わいを取り戻す日を静かに待っています。

ぜひ、復興が進む人吉球磨地域へお越しいただき、復興のシンボルである青井阿蘇神社をご覧ください。



2021年10月に開催された
おくんち祭の神事

《問い合わせ先》

熊本県球磨地域振興局総務振興課 TEL: 0966-24-4113

スケジュール(2月)

| 日(曜) | 会合名等 |
|--------|--|
| 1日(火) | 正副会長・委員長会議(福岡市・ソラリア西鉄ホテル福岡)※Web併催 |
| 2日(水) | 九州・大学発ベンチャー振興会議(福岡市・電気ビルみらいホール) |
| 4日(金) | 農林水産委員会林業部会第2回モクビル研究会(福岡市・九経連)※Web併催 |
| 8日(火) | 国際委員会(福岡市・九経連)※Web併催 |
| 10日(木) | 農林水産委員会第2回水産部会(福岡市・九経連)※Web併催 |
| 15日(火) | 農林水産委員会第2回林業部会(福岡市・九経連)※Web併催 |
| 16日(水) | 九州女性の会2月例会(福岡市・九経連) |
| 17日(木) | 農林水産委員会第2回企画部会(福岡市・九経連)※Web併催 |
| 21日(月) | KYUSHU NEXT 2021(Web開催) |
| 24日(木) | 産業振興・デジタル推進委員会第2回産業振興部会・第3回先進工場見学会(北九州市・TOTO株) 第2回サイバーセキュリティセミナー(Web開催) |

新入会員企業(12月)

アイピーシー㈱

代表取締役社長 加藤 裕之

東京都中央区新川1丁目8-8

TEL: 03-5117-2780 従業員数: 67名

事業内容: ITシステム性能監視ツールの開発・販売・サポート、IoTセキュリティ基盤サービスの開発・提供、各種機器・ソフトの販売

ContractS㈱

代表取締役CEO 笹原 健太

東京都千代田区大手町1丁目6-1

TEL: 050-1746-9492

執行役員CCO 黒川 雅也

福岡市博多区博多駅東1丁目12-17

事業内容: 契約管理クラウドサービスの開発および提供

日本通信㈱

代表取締役社長 福田 尚久

東京都港区虎ノ門4丁目1-28

TEL: 03-5776-1701 従業員数: 116名

事業内容: MVNO事業、モバイルソリューションの提供

◆九経連ホームページ <https://www.kyukeiren.or.jp>

◆九経連メールアドレス info@kyukeiren.or.jp 月報・ホームページをご覧になったご感想やご意見をお寄せください。